



熊ヶ畑の 地域コミュニティ活性化

2022年8月25日

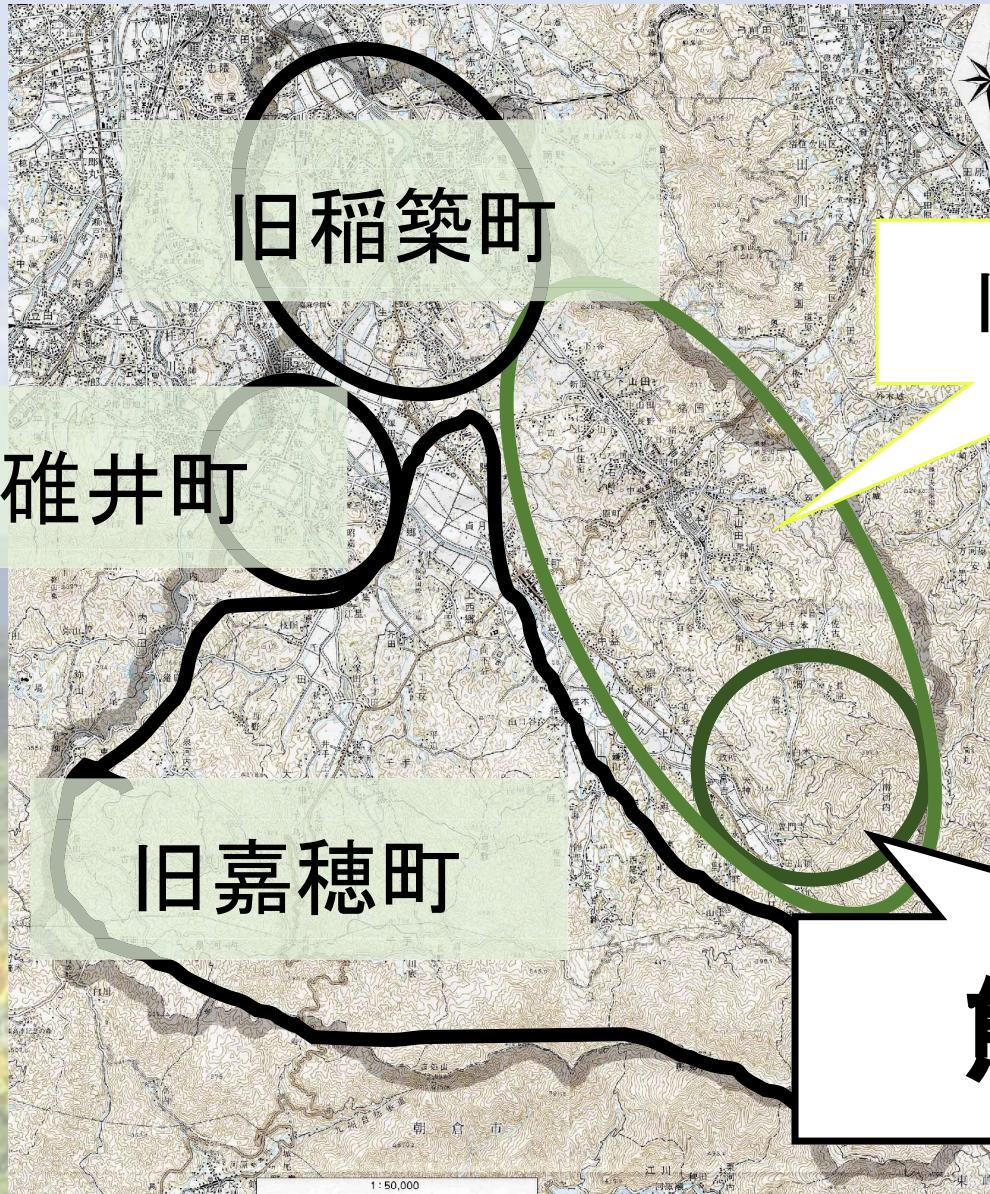
TURE-TECH2022 チーム自他の木

テーマ

「熊ヶ畠コミュニティモデル」の
新しいグランドデザイン



求められているのは
地域コミュニティを
持続運営するための仕組み作り



令和元年熊ヶ畠



旧稻築町

旧山田地区

旧碓井町

2人に1人が65歳以上

旧嘉穂町

熊ヶ畠地域





現状と課題

市側の課題

「行政依存による負担」

嘉麻市が熊ヶ畠など様々な地域をサポート



「役所の人」としての負担増

市側の仮説

各地域で住民主体で生活圏を形成する
「小さな拠点づくり」

予算を渡して、
防災・イベントの企画・財政管理まで
地域コミュニティで実施

地域コミュニティ運営側の課題

60代以下の若者の不参加による
コミュニティ機能の縮小

60代以下の若者がコミュニティに参画していない



コミュニティは縮小の一途



草刈り・ゴミ拾いすら市に依存するほど

自治に繋がるコミュニティ

地域人口(生産年齢人口割合)

40年前の宗像市

66985 (68.2%)

嘉麻市

44000 (35.7%)

コミュニティ拠点

公民館

公民館

拠点の運営

宗像市

嘉麻市

行政の関わり方

行政が援助

行政が援助

コミュニティ施策が始まる40年前の宗像市と嘉麻市は変わらない運営体制
以前の課題は現在の嘉麻市の「自治会単位での活動の困難」と同様

自治に繋がるコミュニティ

	<u>現在の宗像市</u>	<u>嘉麻市</u>
地域人口 <small>(生産年齢人口割合)</small>	66985 (56.4%)	44000 (35.7%)
コミュニティ拠点	コミュニティセンター	公民館
拠点の運営	住民による運営協議会	嘉麻市
行政の関わり方	あくまで対等	行政が援助

- ①コミュニティの一本化が成功したのは若者が支えたから
②宗像市は40年に渡って、コミュニティ作りに注力してきた
→宗像市の体制を導入する前にまずは**仕組み作り**が必要



熊ヶ畠における コミュニティの現状と理想

コミュニティに住民が参加しない理由

メリット

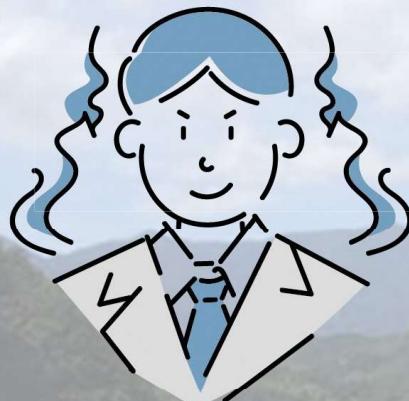
- ・知人が増える
- ・暇つぶしになる
- ・相談できる関係性ができる



デメリット

- ・何をやっているのかわからない
- ・何に繋がるのかわからない
- ・同じ立場の人がいないから参加するのが怖い
- ・時間が惜しい

コミュニティに参加していない住民の声



20代男性
学生Aさん

時間が無いのはもちろんですね。
それから第一に何をやっているのか、
いつやっているのかを知らないので、
参加しようと思わないんですよね....。

地域の美化？誰のためにやるんですか？
掃除の他にやることってあるんですか？



60代女性 社会人D
さん 14

コミュニティに参加する必要条件

メリット

- ・知人が増える
- ・暇つぶしになる
- ・相談できる関係性ができる
- ・誰かに貢献しているという自覚

デメリット

- ・何をやっているのかわからない
- ・何に繋がるのかわからない
- ・同じ立場の人もいないし、参加するの が怖い
- ・時間が惜しい



「誰をターゲットにするのか」

「65歳以上の定年退職者の方々」

ターゲット人数

域内に65~69歳の男性の方が

35人

デメリット

定年退職により

時間に余裕が生まれる

「誰の何を解決するのか」

時間に余裕が生まれた、65歳以上の定年退職者らの

『地域コミュニティに参加する
デメリットがメリットより大きいこと』を解決

ご提案のまとめ

「熊ヶ畠コミュニティモデル」

熊ヶ畠を日本で1番
65歳以上が輝ける地域へ

目指す姿

65歳のコミュニティ加入
80~90%

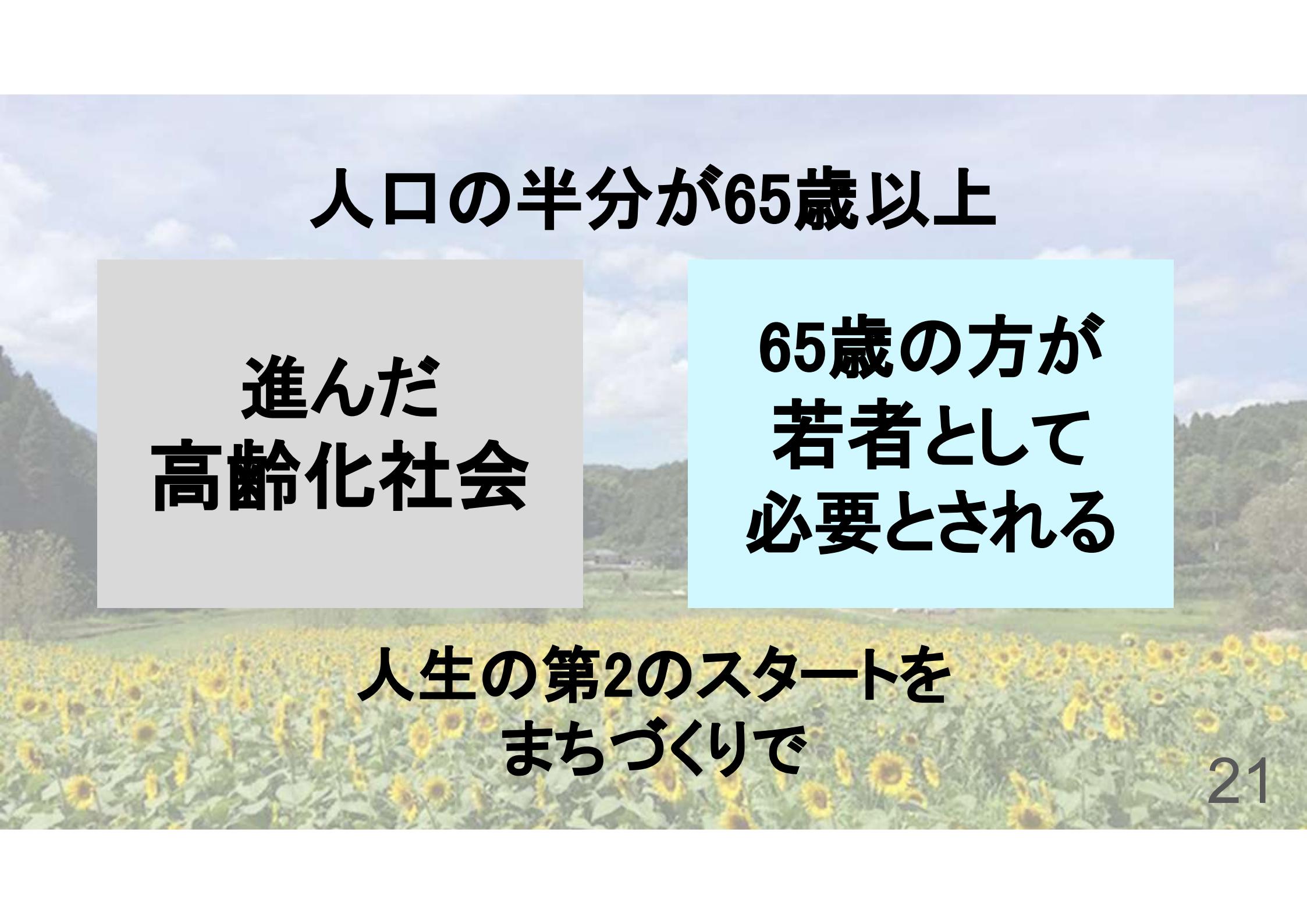
具体提案
第2の人生の門出を祝う
65歳出発式



提案する 熊ヶ畠コミュニティモデル



熊ヶ畠を日本で一番
65歳以上が輝ける 地域に



人口の半分が65歳以上

進んだ
高齢化社会

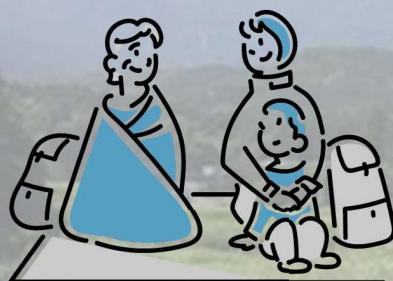
65歳の方が
若者として
必要とされる

人生の第2のスタートを
まちづくりで

日本で一番65歳以上が輝ける地域、熊ヶ畠

**65歳のコミュニティ加入率
50%→80~90%**

それぞれ生き生きと
自分の得意や経験を活かして
まちを一緒につくっていく



施策内容

施策前提

メリット

- ・知人が増える
- ・暇つぶしになる
- ・相談できる関係性ができる
- ・誰かに貢献しているという自覚
- ⋮
- ⋮



デメリット

- ・何をやっているのかわからない
- ・何に繋がるのかわからない
- ・同じ立場の人もいないし、参加するのが怖い
- ・時間が惜しい
- ⋮
- ⋮

きっかけが必要



65歳出発式

65歳からより輝くまち、熊ヶ畠

場所：熊ヶ畠小学校
対象：65歳の方

施策詳細補足

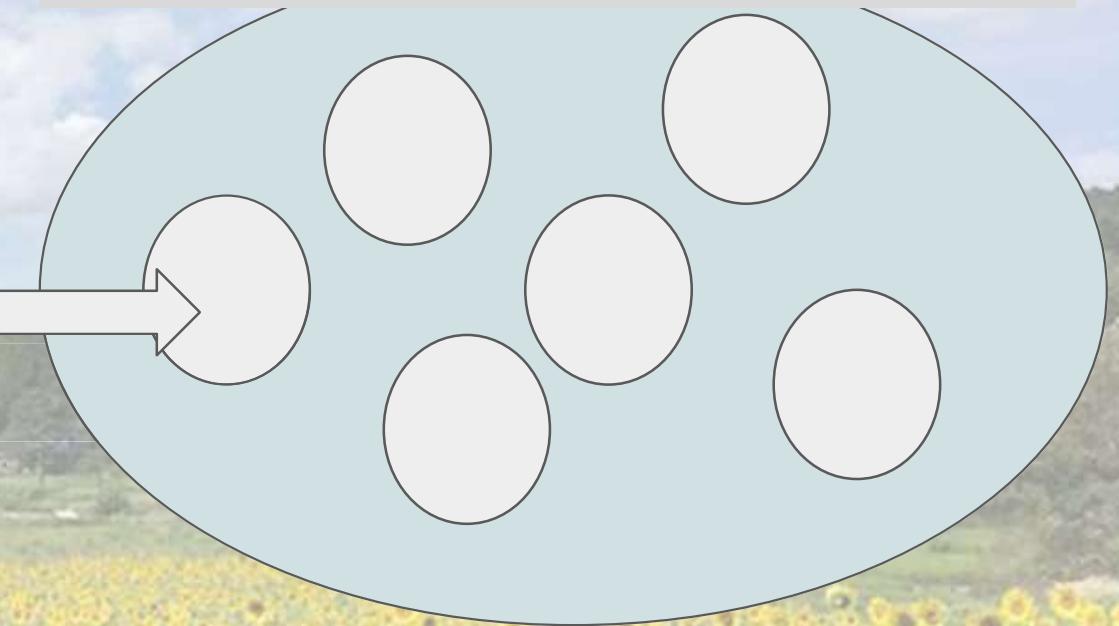
地域コミュニティへの参加

きっかけ

出発式

給食
掃除等

地域
コミュニティ



公助



共助／自助

市長へのお願ひ

実際に現地に行かせてください！

出費

会場1万

諸費用(引き出物、招待状、花贈呈) 1万×5人

広報費 5万

スタッフ費用 1万×5人

合計 160,000円

事前の住民の方へのご説明

3日間の付き添い

この提案を通して伝えたい想い

「あなたたちの世代に残したい。」
その熱い想いに応えたい

そのために、私たちが65歳以上の方々に
生き生き暮らせるコミュニティを作ります

未来を楽しく思い描ける熊ヶ畠の実現に
最後まで向き合います

A wide-angle photograph of a sunflower field. The foreground is filled with numerous sunflowers, their yellow petals and brown centers contrasting with the green leaves. In the middle ground, a small white car is parked near a wooden fence. The background features rolling hills covered in green vegetation under a sky filled with scattered white clouds.

**熊ヶ畠を日本で一番
65歳以上が輝ける 地域に。**



ご清聴
ありがとうございました！